

# 外交証言録

## 湾岸戦争・普天間問題・イラク戦争

折田正樹 著

服部龍二・白鳥潤一郎 編

折田正樹 著  
服部龍二 編  
白鳥潤一郎 編

外交証言録  
湾岸戦争・普天間問題・イラク戦争



外交・安全保障政策の当事者が語る

冷戦下からポスト冷戦までの国際政治と日本外交を、  
総理大臣秘書官・条約局長・北米局長・駐英大使など  
を歴任した著者の足跡とともにたどる。  
外務省側からの初証言。

定価(本体5900円+税)

外交  
証言録

湾岸戦争・普天間問題・イラク戦争

折田正樹 著  
服部龍二 編  
白鳥潤一郎 編

岩波書店

現代の安全保障政策へとつながる  
貴重な証言

宇野・海部内閣で総理大臣秘書官を務め、  
橋本内閣の普天間返還合意など、  
ポスト冷戦期の安全保障政策に深く関わった  
元駐英大使・折田正樹のオーラル・ヒストリー。

はしがき

序 章——外務省入省まで

第1章 東南アジア・石油危機・日ソ関係

——在英大使館、アジア局、条約局、在ソ大使館

第2章 1980年代の日米関係

——OECD、大蔵省主計局、条約課長、在米大使館参事官

第3章 天安門事件——宇野首相秘書官

第4章 冷戦の崩壊——海部首相秘書官(1)

第5章 湾岸戦争——海部首相秘書官(2)

第6章 対ソ外交とアジア外交

——海部首相秘書官(3)、在香港総領事

第7章 防衛計画の大綱と沖縄米軍

——条約局長、北米局長(1)

第8章 普天間返還への道——北米局長(2)

第9章 天皇訪欧・デンマーク・リトアニア

——駐デンマーク大使(兼駐リトアニア大使)

第10章 イラク戦争と歴史和解——駐英大使

第11章 常任理事国入りを目指して

——国連改革担当大使

終章 外交官生活40年

あとがき(編者)

A5判上製カバー288頁  
定価 6195円  
ISBN978-4-00-025780-0

お近くの書店・ネット書店  
でお求めください